

盛岡城跡公園ガイドマップ

もりおかじょうあともこうえん

園内ビュースポット

- 烏帽子岩は櫻山神社横の階段をあがると迫力満点!
- 啄木歌碑から盛岡中学跡(岩手銀行本店)が見えます。
- 晴れた日には岩手山をここから。
- 多目的広場と盛岡市街が見渡せます。
- 晴れた日には遠く正面に早池峰山が見えます。
- 修復された石垣の美しさが見渡せます。
- 大櫓跡の下の石垣は迫力満点!
- 朝日谷の秋の紅葉は絶景です。
- 鶴ヶ池周辺は長岡安平の設計の跡が偲べれます。

石垣の積み方

- 野面積みのつらつらみ
古い城郭に多い、ほとんど加工しない自然石を積み上げる技法。間に間詰石という小石を詰めて安定する。
- 打込接 うちこみほぎ
整形された石を積み上げる技法。石の並びが不規則な乱積(らんづみ)と、図のように横目地が通る布積(ぬのづみ)がある。

盛岡城跡公園内 四阿(あずまや)の名称

拾翠亭	じゅうすいてい	三ノ丸
双龍亭	そうりゅうてい	多目的広場
望岳亭	ぼうがくてい	二ノ丸
四阿	せきようてい	本丸
夕陽亭	りょうきよてい	本丸
凌虚亭	ちんりゅうてい	淡路丸
杖流亭	ちんりゅうてい	帯曲輪

盛岡城跡公園の植物

高木のケヤキ・トチノキ・ユリノキが目立つが、中・高木の本数ではイロハモミジなど約290本、サクラ約250本、アケボノソウ約110本、ウメ約100本、ケヤキ40本、カエデなど約40本、トチノキ34本。低木ではドウダンツツジ300本、リュウキュウツツジ約230本、サツキ約200本、ツツジ約180本、ニシキギ約100本。盛岡固有の樹種、地方色の濃いものなど珍しい樹種としては、シダレカツラ・ケンボナシ・センキ・エゾユズリハ・ザイフリボク・キハダ・クマノミズキなどがあげられます。淡路丸から帯曲輪にかけてのサクラ林は、ソメイヨシノ・エドヒガン・ヤエベニシダレなど約250本、帯曲輪のウメ林は、ウメシダレ・ウメツキカゲシダレ・フジボタンシダレなど約100本があります。

盛岡城跡公園のあゆみ

- 1597 慶長2年 南部信直が盛岡城の築城に着手する。
- 1598 慶長3年 盛岡城築城が豊臣秀吉により正式に許可される。
- 1633 寛永10年 南部重直が盛岡城へ入城(これより歴代藩主居城)
- 1668 明治元(慶応4)年 戊辰戦争にて盛岡藩破れる。盛岡城が国の直轄に属する。
- 1871 明治4年 盛岡藩領により内丸小路に盛岡県庁(現岩手県庁)がおかれる。
- 1874 明治7年 城内建物払い下げ、取り壊し。
- 1906 明治39年4月14日 北条元利が岩手県が公園とするため整備に着手。
- 1915 昭和2年 岩手公園開園。
- 1934 昭和9年12月1日 岩手県から盛岡市に移管。敷地は南部家から買収。
- 1937 昭和12年4月17日 盛岡城跡が国指定史跡となる。
- 1956 昭和31年5月14日 岩手公園として都市計画決定。芝生広場等の整備に着手する。
- 1984 昭和59年 盛岡城跡保存整備事業として石垣解体修理と発掘調査に着手。
- 1989 平成元年 産蔵を公園内に移設。
- 1997 平成9年 「日本の都市公園100選」に社団法人公園緑地協会より選定。
- 2006 平成18年 城下もりおか400年記念事業開催。
- 2006 平成18年 「日本100名城」に(財)日本城郭協会が選定。「日本の歴史公園25選」に選定。(都市公園法施行50周年記念事業)
- 2010 平成22年 愛称「盛岡城跡公園」に決定。

盛岡城跡公園は南部氏の居城であった盛岡城を整備し、明治三十九年(一九〇六)九月十五日に「岩手公園」として開園しました。盛岡市では、開園一〇〇年を記念して、江戸時代の城の様子や美しい石垣の特徴、都市公園としての施設等をまとめたガイドマップを作りました。このマップを手に、ぜひ盛岡城跡公園を散策してみてください。そして、いにしへの姿を思い描き、積み重なった長い歴史を感じてください。また先人たちの記念碑や、四季をいろいろ美しい木々や花々をお楽しみいただきたいと思います。

- 凡例**
- セキレイの便が説明しているのは、この公園の特徴だよ。
 - 石垣
 - 岩・石
 - 城郭建造物跡
 - 河川跡
 - 園内歩道
 - 園内草地・花壇(中津川原)
 - 園内傾斜地
 - 一般舗装道路
 - 一般歩道
 - 園内現建造物
 - 城郭史跡・公園見学ポイント
 - 石碑(歌碑・詩碑)
 - 藩主登城ルート
 - 公園域
 - 国指定史跡域
 - 長岡安平設計の名残
 - ビュースポット